

Vine

「地域の中核、世界の人材」
UNIVERSITY OF YAMANASHI

山梨大学広報
ヴァイン

2017
vol.30
March

【特集1】 社会で役立つ実践的スキルを学ぶ

地域志向型教育の実践

【特集2】 学生の生命と健康を守る

保健管理センターの取り組み



【人物発掘】

川上隆史 助教 生命環境学部生命工学科

【ゼミ紹介】

医学部解剖学講座 構造生物学教室

【ぴくあっぷレッスン】

全学共通教育科目 音楽の即興表現

【サークル紹介】

山梨大学管弦楽団

山梨大学医学部柔道部

社会で役立つ 実践的スキルを学ぶ

～地域志向型教育の実践～

- ・地域を知り、地域の課題を解決する学習プログラムを提供します
- ・社会で役立つ世界中の地域に通じるスキルを学ぶことができます
- ・自分の将来を、きちんと見つけることのできる機会をつくります
- ・山梨県内の大学生とともに学べます

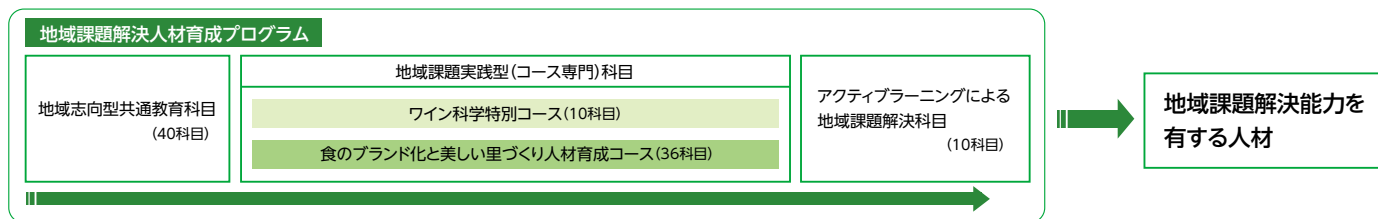


野外実習を交えて山梨を知る講義「山梨学」

本学では、教育改革の一環として、所属する学部・課程(コース)や学科(特別コース)の学習と並行して、学生であれば誰でも履修できる「地域課題解決人材育成プログラム」と「やまなし未来創造教育プログラム」を展開し、大学教育から地域貢献に取り組んでいます。プログラムの各コースで定める修了要件を満たした学生には「修了証」が授与されます。

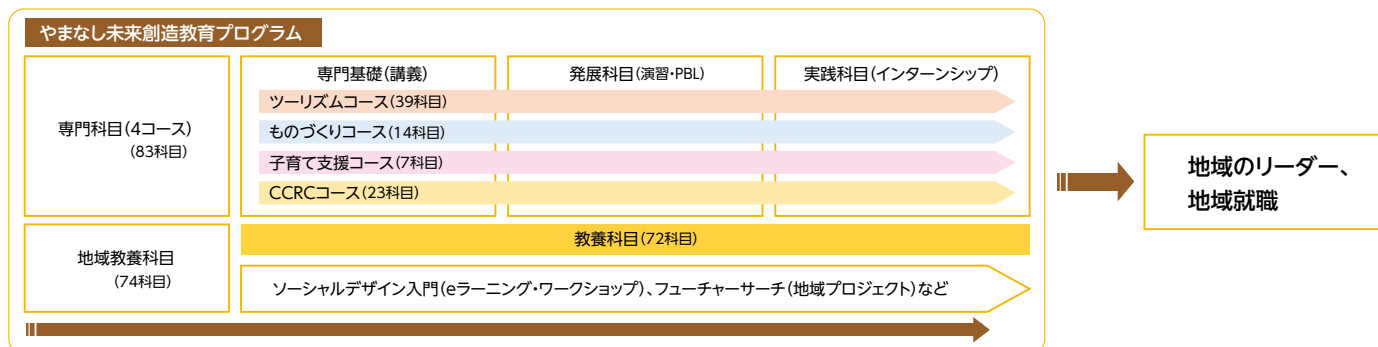
「地域課題解決人材育成プログラム」～地域を知り、地域の課題を解決する～

「ワイン科学特別コース」「食のブランド化と美しい里づくり人材育成コース」で構成され、地域志向型の教育カリキュラムを展開し、地域の課題を解決できる実践的人材の育成を行います。そのためには、グローバルな視点やものの考え方が必要となり、プログラムの履修は、世界を舞台に活躍できる人材育成につながります。



「やまなし未来創造教育プログラム」～他大学の学生と学び、地域をリードする人材育成～

「ツーリズム」「ものづくり」「子育て支援」「CCRC」の4コースを県内全11大学及び横浜国立大学が提供し、やまなしの新たな価値創造のための幅広い知識と豊かな感性を持ち、地域の新たな未来の創造に資する人材の養成を行います。プログラムの履修は、地域への愛着や地元企業の理解を深めます。



「地域課題解決人材育成プログラム」の活動から

アクティブ・ラーニングによる「地域課題解決科目」は、地域の実際の現場へ行き、企業・自治体等で展開されている事業を体験します。課題の発見から解決に至るまでの調査・分析・計画・経営などのスキルを修得できます。



地域課題を調査

「ワインツーリズムの実践」

ワイン産地を巡り地域のワインと文化を楽しむイベントで、ワイナリー・ぶどう農家・飲食店・商店・朝市・NPO・行政などが協力して行います。学生は、事業者からこれまでのツーリズムの様子、経済効果、地域活性化への貢献などを学び、課題や対策を話し合います。



「ワインツーリズムやまなし2016・秋」(平成28年11月)に参加。受付ブースの設営や参加者への案内など運営を実践。

学生の声

一番印象的だったのは参加者の笑顔です。全国から様々な人々が集結し、ワインを通じて仲良くなっていく姿に感動しました。地元にいるのに気付かなかった魅力が山梨にはまだまだあると再発見できました。

「環境分析ネットワーク」

「森林の継承と環境保全計画立案」

現場での環境調査をもとに、水質や森林など地域の自然の状態を評価し、人々の環境と産業と生活を総合的に考えることで、地域と社会(歴史・経済)との関係を学ぶ学外実習を行います。



平成28年5月、山梨県南部町の佐野川流域で、河川での水質や魚や川虫等の生物調査を実施。

学生の声

山梨の大自然を感じながら、川の生態系について学びました。講師や地域の方々身近に接していただき、山間地域の町の様子を知る貴重な機会となりました。また、少人数学習を通じて仲間とより親しくなりました。

「やまなし未来創造教育プログラム」の活動から

「フューチャーサーチ」は、地域における企業等の実際のプロジェクト(Miraiプロジェクト)に参加することを通じて、地域や自らの未来とその可能性について考える、県内の大学と共同で運営する単位互換科目です。これらの実践型教育の場を「未来計画研究社」という会社に見立て、報酬(単位)を修得できます。



学生や企業等が参加する「未来計画研究社」

「ロボアプリ」開発プロジェクト

地域の企業と共同で、感情認識ヒューマノイドロボットを素材に、その持つ機能に合わせた新たな利用方法を検証・提案し、稼働のためのソフトウェア、コンテンツの開発を行います。



「Pepper」の動作を確認

学生の声

使い方が画一化する傾向にある「Pepper」を、地域活性化など新たな活用を自由な発想で考え、プログラミングに挑戦しています。利用者の立場に立った設計開発に悪戦苦闘するも、動いてくれた時の喜びはひとしほ。「若い頭脳でプロジェクトを動かしたい」。そんな想いです。

「婚活スタイル」プロジェクト

結婚を考える方を対象に、結婚につながる出会いの場となるイベントなどを企画・実施します。これまでの「婚活」のイメージを払拭し、若者の視点から、新しい婚活スタイルを提案します。



婚活イベント候補地を視察

学生の声

「自分たちが将来参加したくなるような婚活」を目指して、学生目線で様々なイベントを企画しました。具現化する中で法律の壁や実際の実現性などの困難に直面しましたが、何度もメンバーと議論を重ね、初対面の相手同士でも自然と会話が弾む環境を生み出すアイデアが次々と生まれました。

学生の**生命**と**健康**を守る

ー保健管理センターの取り組みー

大学の中で「怪我をしてしまった」「急に体調が悪くなった」時の応急措置や健康診断などで学生が利用する「保健管理センター」。しかし、役割はそれだけではありません。保健管理センターでは、日々あらゆる面から学生の健康をサポートしています。



学生の皆さんが日々の学業に楽しく取り組み、充実した生活を送り社会に巣立ってゆくには、肉体的にも精神的にも健康であることが最も重要です。これをサポートするのが、保健管理センターの大切な役目です。とくに学問の進歩に伴い、皆さんに課せられる課題は時に過重となり、精神的に追い込まれる例がここ数年増加しています。

そのため、センターでは専任の内科医、精神科医、心理カウンセラー、保健師、看護師を配置するなど極めて充実した体制を構築しています。精神的な負荷は早期に対応することが重要です。まずはどんなに些細な悩みでも気軽にセンターに相談にきてください。いつでもスタッフみんなでお待ちしています。

藤井秀樹 保健管理センター長(本学理事・副学長・附属病院長)

保健管理センターのしごと ~すべては、安心できる学生生活のために~

応急措置や健康相談の他にも、様々な業務に日々取り組んでいます。

新入生に ガイダンス

保健管理センターを知ってもらい、体育実技やサークルでの怪我、飲酒・喫煙・薬物・感染症など、初めての大学生活で重要なアドバイスをを行います。

イベントでの 救護

入学式・卒業式、大学祭、入学試験、オープンキャンパスなど、大切な式典・イベントでの救護を行います。

健康診断

学生・教職員等合計約8000名を診断します。学生には健康・体力測定も行います。

メンタル サポート

甲府キャンパス・医学部キャンパスでは「学生メンタルサポート室(こころの健康相談)」で、学生生活での悩みなどを聞き、一人ひとりにきめ細やかなサポートをしています。



学生メンタルサポート室内



箱庭療法:砂の入った箱の中にミニチュアを置き、自分の内面の世界を表現。対人関係等を改善する心理療法です。



感染症の 周知

ノロウイルス・熱中症・麻しん(はしか)など、最新の情報を取り入れながら、予防や対策などを周知しています。

ワクチン接種 抗体検査

麻疹・風疹・水痘・ムンプス・B型肝炎・インフルエンザなどの予防のために、ワクチン接種・抗体検査を行っています。

セミナー 健康教育

ヨガ実技や認知行動療法等のセミナーや、感染症・喫煙・救急蘇生など、心とからだに関する健康教育を行っています。

AED講習

緊急の際にAEDを用いた救急救命ができるよう講習会を行っています。甲府キャンパスには9か所、医学部キャンパス(附属病院除く)には3か所設置されています。

会議・学会

定期的な会議で大学内での情報交換を行います。また、保健管理に関する全国規模の学会・研究会等に参加、最新の研究・取り組みを学び、日常業務に活かしています。

活動報告 広報

健康情報に関する冊子や保健管理センターの案内・しおり・紀要などを発行し、広く活動を報告しています。

[保健管理センターのあゆみと役割]

昭和33年、学校保健法(現:学校保健安全法)が制定され、その後、保健管理センターが制度化されました。

全国の大学で歩み始めた昭和40年代から現代に至るまで、一般に「センター＝大学の保健室」というイメージが強いと思います。しかし近年、学生の健康や安全管理、特に感染症対策の重要性が高まり、さらに平成16年に国立大学が法人化され、事業場として

の職場管理が開始される中、保健管理センターの業務内容は、以前とは全く違うものになっています。

大学では、高校までと比べて、学生と教職員の垣根がはるかに低くなります。保健管理センターは、そんな大学の特性に合わせて、壁にぶつかり悩む学生をサポートする様々な取り組みを行っています。

気軽に、
来て下さい



保健管理センター入口

学生・教職員合わせて約5000名の健康管理を担当しています。医療スタッフと臨床心理士が協力して、皆さんのニーズに合った診療・相談を心がけています。

Q & A

こんな時、 どうしたらいいですか？

Q いつ利用できますか？

A 平日の月～金曜日
8:30～17:00に開設しています。
相談がある方は、直接センター窓口
に来ていただくか、電話・メールでご連絡
ください。

Q 料金はかかりますか？

A 診療や応急措置、健康に関する相談など
を無料で行っています。
(ワクチン接種は料金をいただきます)

Q どんな怪我・病気でも
診断してくれますか？

A まずはセンター窓口にお問い合わせ下
さい。診察・応急措置等を行った後、別
の医療機関への案内や紹介状の発行を
行うこともあります。

Q 健康診断証明書の発行は
できますか？

A 大学で実施した健康診断結果に基づく
証明書の発行が可能です。就職活動に
関する診断書は、検査項目や受診時期
の制限もあるため、センター窓口にご
相談下さい。

甲府キャンパス

お問い合わせ ☎055-220-8081



左より、中込裕美保健師、伊藤美佳臨床心理士、篠原学医師、和泉恵子保健師



受付窓口



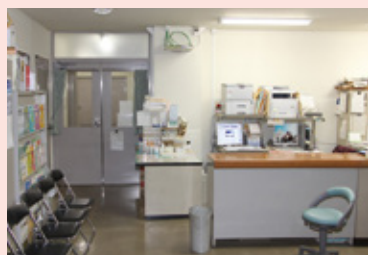
休養室

医学部キャンパス

お問い合わせ ☎055-273-9312



左より、守屋圭子看護師、高山一郎医師



診療室



検査機器(いつでもご利用ください)

学生・教職員合わせて約3000名の健康管理を担当しています。附属病院での実習や卒業研修など、学生と教職員の関係が近い、医学部特有のニーズに合った診療を心がけています。

人物 発掘

生命環境学部生命工学科

川上隆史助教

とにかく研究が好きで、マサチューセッツ工科大学留学中のポストンでも、どこへも出掛けず研究ばかりして過ごしたと苦笑いする川上隆史助教。昨年11月に着任すると、引越し荷物の片づけもほどほどに、ペプチドの研究に勤しむ日々が続いています。

KAWAKAMI Takashi

ごく普通だった子ども時代。 卒業後は就職しようと東京高専へ

小学校の頃の習い事はピアノと英会話と水泳、中学の部活動はテニスという、本当にごく普通の子どもの時代。多少ユニークな点があるとすれば、東京工業高等専門学校へ進んだことくらいでしょうか。家庭の事情で大学へは進学せず就職しようと考えていたので、就職率の高さに魅かれての選択でした。

高専と聞くと、機械や電気電子のイメージが強いかもしれませんが、私は、薬剤師をしていた母の影響で手に職をつけたいという意識があったこと、理科が好きだったことから、化学を学ぶことのできる物質工学科へ進みました。

恩師に強く勧められ 東京大学への転入を決意

物質工学科には大きく2つのコースがあり、一つは材料系、もう一つが環境生命系でした。今考えるとかなり稚拙なのですが、当時の私には、材料系は世の中を便利にする、環境生命系は弱者に貢献するというイメージがあり、そこから環境生命系の学びへと興味が広がりました。この頃から創

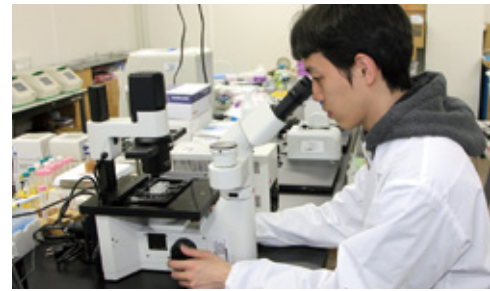
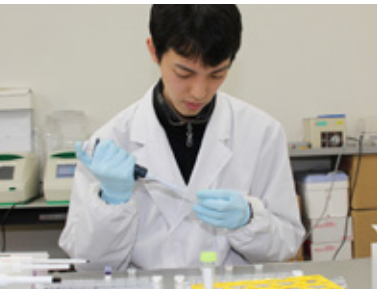
薬や生命に関する分野にも興味があったのですが、当時はまだそういった関係の研究室が東京高専には無かったことから、5年次の研究室配属では環境分析化学の研究室へ。ここで三谷友世先生と出会い、熱心に進学を勧めていただいたことで、その後の人生が大きく変わりました。

この研究室では三谷先生のご指導のもと、カニの甲羅の成分であるキトサンが持つ重金属を吸着する性質を利用し、環境汚染の原因の一つになる工業廃水をクリーンにする研究に携わり、卒業研究では、キトサンが吸着する重金属の種類や量、さらにはメカニズムなどを調べました。今はかなり分野が異なるのですが、これが私の最初の研究です。

生命工学を志すも、 じゃんけんに負け他分野の研究室へ

もともと創薬や生命に関することを学びたい思いがあったことから、高専卒業後は、東京大学工学部化学生命工学科に編入し、生命工学を専攻することにしました。ところが、4年次の配属先は、有機合成化学の研究室に。というのも、希望が偏った場合、配属先を決めるのはじゃんけんなのです。当時はバイオテクノロジーの人





薬剤ペプチドのスクリーニング

ペプチドライブラリーを調製する学生を指導する川上助教(右から2番目)

ヒト細胞の顕微鏡観察

気が高く生命工学系の研究室に希望が偏り、負けた私は意に反して有機化合物の合成に取り組むことになってしまいました。そのときはガッカリしましたが、今ではラッキーだったと思っています。というのも、合成の方がより専門性が強く、技術も必要になるんです。そういったことを最初の研究室で学べたことはとても有意義でしたし、実際、当時学んだことは、今も役立っています。

研究テーマは、 新機能を持つペプチドの創造と、 そのプロセスの確立

修士に上がる際には、本来目指していた生命系の研究室に入ることができました。そこで始めたのが、今も続けているペプチドの研究です。

ペプチドとは、アミノ酸が十数個繋がった生体分子のことで自然界にも多く存在しています。例えば、最近機能性食品として話題になっている大豆ペプチドは天然由来のペプチドの一つですし、私たちの体内にあるホルモンにもペプチドは存在します。私の研究テーマは、生命工学の分野で役立ついろいろな機能を持つ全く新しいペプチドを人工的に造り出すことであり、そのプロセスを確立することです。

生命工学科は、生物学的な現象のな

かでも、医療とか診断とか、創薬といった分野での研究が主になります。私はここで、ヒトiPS細胞に、機能の維持や細胞の増殖といった機能を与えるペプチドの開発に取り組んでいます。イメージとしては、ヒトiPS細胞のための機能性食品といった感じでしょうか。

また、個人的な研究テーマとして、創薬や発生工学に役立つペプチドも作りたいと考えています。発生工学は、受精卵からヒトが発生する段階に関連する学問分野のことで、一般的な言葉で言うなら、不妊治療などに関する研究ということになります。本学科ではその分野の研究も進んでいるので、例えば受精卵からのヒトの発生率を上げるようなペプチドの開発にも取り組んでみたいと考えています。

「オンリーワンのことをしている」 そう思える瞬間が、一番のやりがい

世界レベルで見ても、今自分はオンリーワンのことをしていると思いながらやっているときが、一番楽しいですね。研究者の世界では、「同じ試みをしている人が3人いると思え」と言われますが、私自身は常に、「自分がやらなかったら、世界中の誰もやらんだろう」と思いながら研究に向かっています。そして、そうして開発したものを通して、

創薬や医療や診断といったところに貢献していけたら、それこそ嬉しいですね。

モットーは、「論理的であれ」

研究者にとっては普通のことかもしれませんが、常に心掛けているのは、論理的であることです。研究内容はもとより、マネジメントや学生と一緒にやっていく上でも、他の研究者との共同研究でも、論理的に考えて意義があるから一緒にやって行きましょうという姿勢を大切にしていきたいと思いますし、どちらを選ぶか迷ったときも、自分のなかで基準にしている部分です。

ところで、研究でも、人生でも、最初に思い描いた通りにはならないことの方が多いように思います。私自身、学部時代の研究室配属でも、その後の人生でも、研究活動でも、そういった経験は何度もあり、その都度ガッカリしてきました。けれど、例え今望む通りにならなくても、結果的に到達できればいいのだから、悲観することはないし、今の学びも経験も、そのために役に立つときに必ず来るとも思うんです。

学生には、勉強も然ることながら、アルバイトやサークル、インターンシップなど、大学3年までの間に幅広く経験してほしいなと思っています。それがいつかきっと、役に立つときが来るはずですから。

今いる場所が、例え望み通りではない場合でも、
そこでの学びや経験が役に立つときが必ず来るので、
前向きにいろいろなことに取り組んで欲しいですね。



【専門分野】
ペプチド工学／ケミカルバイオロジー／創薬
【学位】博士(工学)(東京大学)2009年
【略歴】
1979年 東京都生まれ
2000年 東京工業高等専門学校物質工学科卒業
2003年 東京大学工学部化学生命工学科卒業
2005年 東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻修士課程修了
2005年 ヤマサ醤油株式会社化成品事業部研究員
2006年 東京大学先端科学技術研究センター研究員
2008年 JSPS特別研究員DC2
2009年 東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻博士課程修了／マサチューセッツ工科大学博士研究員

2010年 Human Frontier Science Program Long-term Fellowship 研究員
2011年 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻研究員
2014年 産業技術総合研究所創薬分子プロファイリング研究センター研究員
2016年 山梨大学生命環境学部生命工学科助教／JSTさきがけ「生命機能メカニズム解明のための光操作技術」研究員(兼任)
【受賞歴】
井上研究奨励賞(井上科学振興財団)／第49回日本ペプチド討論会ポスター賞(日本ペプチド学会)／日本化学会第89春季年会学生講演賞(日本化学会)／第12回生体触媒化学シンポジウムポスター優秀発表賞(生体触媒化学研究会)／第44回日本ペプチド討論会ポスター賞(日本ペプチド学会)

医学部解剖学講座 構造生物学教室

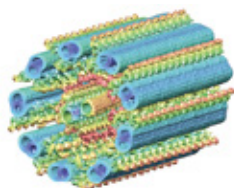
小田 賢幸 教授

“珍妙”な生き物から 医学を俯瞰する

私達の研究室は、およそ医学部とは言い難い生物を扱っています。緑藻に、線虫、そして平板生物です。特に平板生物は名前すら聞いたことが無い人の方が多いでしょう。これらの生物は体が簡単な構造をしているので、複雑な人体を理解する上で必要な実験系を容易に構築する事ができます。特に私達は超低温透過型電子顕微鏡という特別な装置を使って、-180℃で凍らせた細胞小器官の3D構造を解析しています。この方法によって、細胞の中で起こっている現象をナノレベルで理解することが出来るのです。では、私達が研究している3つの生物について簡単にご紹介します。



緑藻クラミドモナス。10ミクロンの細胞体に、同じ長さの鞭毛が2本生えている。



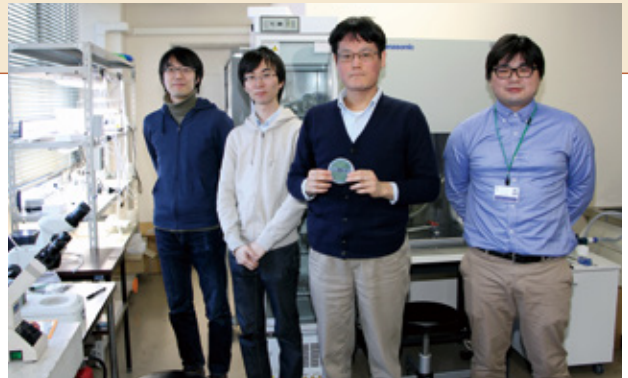
クラミドモナスの鞭毛の3D構造。直径は200nm程。分子モーターがビッシリと並んでいる。

緑藻クラミドモナスは単細胞の植物ですが、2本の鞭毛を持っており泳ぐことが出来ます。この鞭毛は、人体において精子を動かしている鞭毛や痰を気管から除去している繊毛と同じ物です。ですから緑藻を遺伝子操作することで、鞭毛・繊毛に関係するヒトの病気や生理現象を研究することが出来るのです。私達はクラミドモナスの鞭毛の3D構造を解析することで、鞭毛が動く分子メカニズムを明らかにしようとしています。

線虫 *Caenorhabditis elegans* は、目や耳はおろか脳すら無い小さな生き物ですが、2002年、2006年そして2008年のノーベル賞を生み出した輝かしい実績があります。また飼育や遺



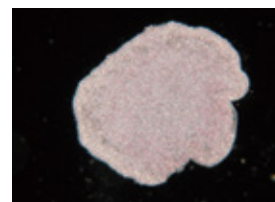
線虫 *Caenorhabditis elegans*。長さ1mmほどで、内部の消化管や生殖巣が透けて見える。



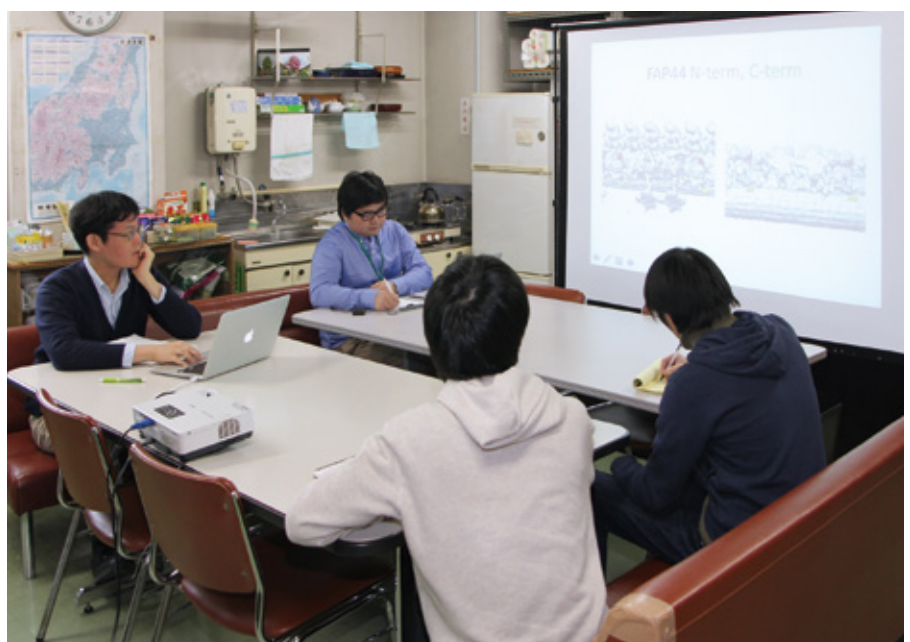
小田研究室の皆さん(右から2番目が小田教授)

伝子操作が容易なだけでなく、総ての成熟個体(♀)が正確に959個の細胞から構成されるという驚くべき均一性を持っています。硬いキチン質の殻で覆われた体は極めて強靱で、ホルマリンに漬けても動き続け、あのスペースシャトルコロンビア号墜落事故でも生き残りました。私達はそんな線虫の口の周りにある感覚繊毛の構造を観察して、原始的な知覚の仕組みを研究しています。

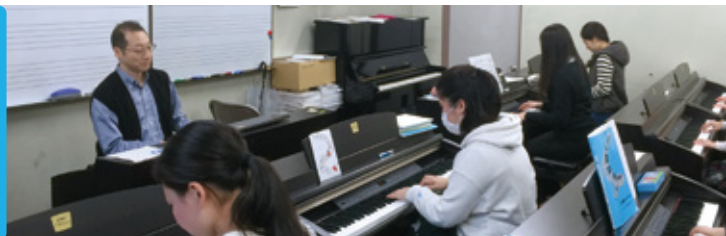
平板生物センモウヒラムシは、繊毛を使って海底を這いずり回っている袋状の奇妙な生き物です。一切の器官を持たず、外界と体腔の境界すら曖昧なこの生き物は、最初期の多細胞生物の原型を留めているとも言われています。生態の殆どが未知であり、研究者の数も極めて少ないセンモウヒラムシですが、私達は遺伝子導入法の確立や生活環の全容解明を試みることで、器官発生の謎に挑戦しています。



平板生物センモウヒラムシ。不定形で、大きいものでは数mmに達する。普段は分裂して増えるが、有性生殖も可能である言われている。



研究室ミーティングの様子



【担当教員】
教育学部 芸術身体教育コース
藤原 嘉文 教授

22

音楽の即興表現

全学共通教育科目

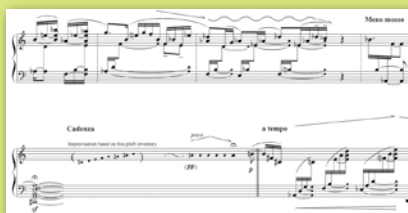
みなさん!
「即興演奏」と聞くと
どんなことを思い起こしますか?
ジャズのアドリヴ?
何も無いところからその場の雰囲気
自由に演奏すること?



私は作曲家ですが、
即興演奏には作曲と
はまた違った楽しさ
がありますよ。

実はとても歴史が古いのです。元々音楽は即興演奏から始まったといっても過言ではないでしょう。正に音楽の原点。授業では、様々な時代、ジャンル、形式における即興表現の実例について学びます。音源、映像の視聴や私自身の演奏などを交え、生きた音楽としての理解を深め、時には受講生自身の実習(実演)を通して授業の内容を実体験として定着してもらいます。

バッハもベートーヴェンもショパンも大作曲家であると同時に名即興演奏家でした。ただ、そんなこと聞くと、即興演奏なんて凄い人しか出来ないのでは?とってしまうでしょう。でも、ピアノをやっている人は心当たりがあると思いますが、間違いそうになったら何とかごまかして弾いた経験はありませんか?その行為自体が既に即興表現です。何も特別なことではないのです。音楽をやっていたら身の回りに自然にあることです。音楽における即興表現とはどういうことか?ということ、みんなで考える場にしたいです。



藤原教授作曲《Sound Mozaic III》の楽譜に設定されている即興演奏部分

図形楽譜を用いた
即興演奏に挑戦



うまい、へたは関係ない。
即興に正解なんてありません。
間違いを怖れず
知的好奇心をもって
どんどんトライして欲しい。



共通科目なので、様々な学部の受講生が集います

- ◎ジャズの名曲「枯葉」の1本指で弾ける簡単アドリヴリレー
 - ◎カラオケを使ったモーツァルトピアノ協奏曲のカデンツァ体験
 - ◎バロック時代の通奏低音 vs コードネームとは
 - ◎現代音楽作品に現れる前衛的(?)な即興部分を体感
- 他にも色んな即興表現のメニューがたくさんあります。

University of Yamanashi Orchestra

こんにちは。山梨大学管弦楽団です。

「University of Yamanashi Orchestra」略して「UYO」。

設立は1966年。半世紀以上も活動している、山梨で最も歴史ある楽団です。

1968年より ほぼ毎年演奏会を開催

もともとは数名の有志により結成されましたが、1968年2月に第1回定期演奏会を開催して以降、50年にわたり、ほぼ毎年絶えることなく演奏会を開催しています。また、入学式や卒業式、大学祭などでも演奏を披露させていただいています。

皆さんは「オーケストラ」の演奏を聴く機会がありますか？有名な「ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」「NHK交響楽団」など様々な楽団の演奏をTV・CD・インターネットなどで聞くことができます。そもそも「オーケストラ」とは、18世紀半ばにヨーロッパで誕生したとされ、バイオリン・フルート・トランペットなど様々な楽器が集まって1つの音楽を作り上げるもの。これまで名立たる作曲家が数多くの名曲を残してきました。



現在、団員も募集中です。
楽器・経験は問いません。
私たちが一緒に
音楽を作り上げたい方、
入団を待っています！
少しでも興味のある方、
気軽に声を掛けて下さい。

他大学の学生、社会人と 音楽が大好きな仲間たち

さて、私たちの活動は火・水・土曜の週に3回。パートごとの練習や指揮者の先生との合奏練習などを行い、日々演奏技術を磨いています。団員は山梨大学の学生だけではなく、山梨県立大学や山梨学院大学などの学生・社会人も一緒に活動しています。それぞれが勉強や仕事と両立させながら、毎回部屋に足を運んでいます。

音楽経験は様々です。小さい頃から楽器に親しんでいる人から、楽器も触ったことが無い人まで。でもみんな「音楽が大好き」。この想いで、音楽に真剣に向き合い、助け合いながら活動しています。「アマチュア」かもしれませんが、多種多様な仲間たちが集結して、1つの音楽を作っていく。これこそが醍醐味ではないでしょうか。

感謝の気持ちを忘れず活動

これからも、皆さまに愛され、私たちの演奏を楽しみにして下さる方々がもっと増えるよう、団員一同頑張っていきます。また、演奏会や練習などでアドバイスやサポートをいただいている多くのOB・OGの方々や、ご指導して下さる先生方への感謝の気持ちを忘れずに、これからも活動していきます。



手作りの演奏会宣伝用看板と
50周年記念演奏会



お知らせ

次回、第77回目の定期演奏会を行います。ぜひお越し下さい。
日 時:2017年6月11日(日) 開場13:00 開演13:30
場 所:コラーニー文化ホール大ホール(山梨県甲府市寿町26-1)
入場料:前売:500円/当日:700円
《曲目》L.v. ベートーヴェン／交響曲第1番ハ長調
L.v. ベートーヴェン／歌劇「フィデリオ」序曲
G.ピゼー／組曲「アルルの女」より



Judo Club Medical Campus

こんにちは。山梨大学医学部柔道部です。
 私たちは医学部キャンパスにある武道場で活動しており、
 みんなで目標に向かって練習しています。

オリンピックでも大活躍 日本発祥のスポーツ

皆さんは柔道を経験したことがありますか？

近年、中学校や高校では「武道必修化」により、柔道を体育の授業に取り入れている学校も増えています。

また、2016年夏にリオデジャネイロで開催されたオリンピックで、日本は金メダル3個を含む合計12個のメダルを獲得、選手たちの活躍は皆さんの記憶にも新しいと思います。柔道は日本発祥のスポーツの中で、唯一オリンピックに採用されており、世界中で広く競技されています。

礼に始まり 礼に終わる

「柔道」と聞いて、柔道場で豪快に相手を投げたりする姿をイメージされる方が多いと思います。柔道は、身体・知恵・心を最も効率的に働かせる武道で、武器・防具を用いず全力で稽古・試合ができる格闘技です。

ただ、それ以上に重要なのは、「礼に始まり礼に終わる」という社会に必要な礼節や、相手の動きに応じて自分が対応するという競技を通して相手を尊重する態度を学ぶことで



医学部柔道部員たち

興味を持って
 いただけたでしょうか。
 ぜひ一度、
 気軽に見学に来て下さい。
 道場でお待ちしております!!

あり、互いに協力し、助け合い、ともに向上していくことが大切だとされています。

東日本医科学生 総合体育大会を目標に 他県の柔道部とも交流

柔道部が参加している大会の中で、毎年8月に開催されている「東日本医科学生総合体育大会」は、東日本のほとんどの医学部が参加する医学生のスポーツの祭典で、規模も大きく、過去には優勝をしている先輩もいます。

未経験・初心者でも心配ありません。受け身から丁寧に部員同士で指導し合うことで、1年で見違えるほどに上達します。

他大学との交流も積極的に行っています。特に、年に1度、三重県や滋賀県の柔道部と交流試合を行っており、同じ武道を歩む者

士・医学生同士で、練習方法や大学での生活や授業など共通の話題でいつも話が盛り上がります。



大外狩り



部員、待ってます



体落とし



背負い投げ

大村智特別荣誉博士胸像を設置

平成28年10月5日(水)、甲府キャンパス大学附属図書館1階エントランスホールに、「大村智特別荣誉博士胸像」を設置し、同日記念式典・除幕式を挙行了しました。

この胸像は大村博士の平成27年「ノーベル医学・生理学賞」受賞を讃え、その功績を末永く顕彰することを目的に、「山梨大学大村智記念基金」の一部を活用して制作しました。

式典には、大村基金の高額寄附者や「山梨大学大村智記念基金奨学金」の奨学生等、約100人が参加しました。

島田眞路学長は、「大村先生からいただいた数々の『人をつくる言葉』を大切に、大村先生に続く次世代の若者の人材育成に努めます」と決意を新たにしました。

大村博士からは、「像はその人物より優れた風貌で造られるので、像に恥じない生活をしていきます」と挨拶がありました。

※胸像は、図書館の開館時間、一般の方も自由に鑑賞できます。
また、図書館2階では「大村智先生ノーベル医学・生理学賞受賞記念展」を常設展として開催中です。



高さ180センチのブロンズ製の胸像が現れ、会場からは盛大な拍手が贈られました。

平成29年度 学年暦(年間予定表)

事項	期日等
前期開始	4月 1日(土)
ガイダンス等、健康診断等	4月 3日(月)～4月12日(水)
入学式	4月 6日(木)
前期授業開始	4月12日(水)
前期授業終了	7月31日(月)
夏季休業	8月 1日(火)～9月21日(木) 各学部で定める
秋季卒業式・修了式	9月27日(水)
前期終了	9月30日(土)



事項	期日等
後期開始	10月 1日(日)
開学記念日	10月 1日(日)
秋季入学式(大学院)	10月 2日(月)
後期授業開始	10月 2日(月)
大学祭(医学部キャンパス)	10月27日(金)～10月29日(日)
授業振替日	11月 1日(水) 木曜日の振替日
大学祭(甲府キャンパス)	11月 2日(木)～11月4日(土)
冬季休業	12月23日(土)～1月4日(木)
授業振替日	1月 9日(火) 月曜日の振替日
後期授業終了	2月 2日(金)
春季休業	2月 3日(土)～3月31日(土) 各学部で定める
卒業式・修了式	3月23日(金)
後期終了	3月31日(土)

- ※1. 授業振替日とは、授業回数が不足している曜日について、当該不足曜日の授業を振替えて行うものです。
2. 1月12日(金)は、大学入試センター試験準備のため休講となります。ただし、医学部キャンパスは医学部授業時間割による授業を行います。

今号の表紙 「未来計画研究社Studio」



学生と企業との協働プロジェクトやワークショップ等を行う拠点施設として、平成29年1月、甲府キャンパスに開設しました。また、他大学の学生との交流拠点として、自由闊達な意見交換や学習を行うことができます。このスタジオから、情報共有や新しいアイデアが生まれることが期待されます。

編集後記 厳しい寒さが和らぎ始め、木々の芽吹きを感じる季節。山梨大学での取り組みや頑張る学生・教員の姿を載せた「山梨大学広報誌Vine」をお届けします。今号で節目の30号となりました。

産業構造の変化、働き方の多様化、グローバル化、地域活性化…学生を取り巻く環境の変化や課題を常に捉えながら、大学は学生の意欲を引き出し、学生を育て社会へ送り出す責任があります。

特に地方の大学は、企業・自治体・地域等と力を合わせて、若者が「ここで暮らしたい」と思えるような、魅力ある雇用・就職先を創出・紹介し、地元定着を図るべく懸命な努力を続けています。

大学は「知的資源」の拠点。集う人も知恵もすべてが財産です。今後とも皆さまのご理解・ご協力をいただきながら、特色ある教育・研究を展開してまいります。ご期待下さい。(広報企画室)

山梨大学広報 **ヴァイン** | 2017 vol.30
March

発行者:山梨大学総務部総務課広報企画室

[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]

山梨大学総務部総務課広報企画室

TEL:055-220-8006 FAX:055-220-8799

E-Mail:koho@yamanashi.ac.jp

山梨大学ホームページ

<http://www.yamanashi.ac.jp/>

